



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan kindergarten

3月園だより

令和2年2月28日
February, 27, 2020
園長 小久保 篤子
Principal
Tokuko Kokubo

たいせつな たからもの

「Make a Friends !」

「南山幼稚園のいいところってどんなところ？」と尋ねた時の言葉です。子どもたちの園生活を物語っているそんな一言です。

2月中旬から、日替わりで年長組3~4人の子どもたちと職員室で昼食をとりました。子ども一人ひとりと会話をする中で、「こんなことがあった」という思い出話や「大きくなったらこうしたい」という夢など、様々なテーマで語り、ある日は英語によるトークで楽しみました。

「Make a Friends !」の言葉のように、さくら組の子どもたちが、友達や先生とみんなで何かをすることが楽しいと思えたことは、小学校以降の学習の基盤となる「みんなで学習する」態度や気持ちが育っているという証だと思います。友達や先生とつくりあげる園生活の中で育まれた「自信」や「自己有能感」が、たいせつなたからものになったのです。

先日、ばら組は、さくら組から出欠調べ当番や誕生会の司会などを引き継ぎました。早速、張り切って取り組んでいます。りんご組は、ばら組になることに期待をもっています。どちらの学年も生活の広がりとともに、様々なことに目が向くという姿は大きな成長の姿です。

私は、自分を支えてくれる人たち全て「たいせつなたからもの」であると思っています。成長の節目、一年の節目には、感謝の気持ちを伝えたいと思いますし、子どもたちにも、日常的に身近な人が自分にしてくれたことに対して、感謝する気持ちをもてるようになってほしいと考えます。南山幼稚園の子どもたちは、とても素直で優しいです。「ありがとうって言おうね」など、これからも大人がモデルを示し教えていきましょう。

一年間の教育活動を通して、PTAの役員の皆様には、様々な場面でご協力いただき、ありがとうございました。

そして、今年度も本園の教育活動を見守り、子どもたちの健やかな成長を支えてくださった保護者、地域の方々、学校評議員のみなさまに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

【3月のアートギャラリー】

—ひな人形—

☆5歳児

何日もかけて、丁寧につくりあげました。子どもの発想で人形の小道具も様々に。



☆4歳児

顔を丸く立体にしたり、体を筒状にしたりするなどの技法に挑戦しました。



☆3歳児

折り紙の折り方、のりの使い方など、これまでの経験を生かしてつくりました。



